

事務事業マネジメントシート (21年度実績と22年度計画)

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 26 日 作成  
 21年度決算把握後 平成 22 年 5 月 21 日 作成

事務事業名		セミコンテクノパーク内原水・配水施設維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連										
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	水道局	課長名	久留 伸二							
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	上下水道課	担当者名	宮崎 勝之							
	基本事業	16	快適な住環境の整備			所属班	管理工務班	(内線)	1176							
予算科目	会計	90	款	1	項	1	目	1	事業連番	水道会計	法令根拠	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例	成果優先度評価結果	12	コスト削減優先度評価結果	-
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 21年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 10 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)										

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	テクノパーク内水源・配水施設を維持管理する事業。 平成10年度から水道を計画的に整備し、清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境の改善のために事業開始時から行っている。 水道使用事業者数は平成10年度の開始時期より年々増加傾向にあるが、原水・配水施設に大きな変化はなく、1施設のみで供給している。
【業務の流れ】	セミコンテクノパーク内の水道配水施設(配水タンク、配水ポンプ、配水管等)の維持管理等の業務委託に関する契約事務、業務立会、結果報告、改善事務。
【主な予算費目】	営業費用(テクノパーク費全節)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特に聞いてない。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO) 原水・配水施設を適切に維持管理した(電気計装、配水ポンプ、非常用発電機)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 原水・配水施設を適切に維持管理する(電気計装、配水ポンプ、非常用発電機)
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 ⇒ ア 原水・配水施設の点検回数	(単位) 回
⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 ⇒ ア 維持管理している原水・配水施設数	(単位) 箇所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 原水・配水施設を事故なく適切に維持管理する。	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 ⇒ ア セミコンの配水施設の事故により断水した回数
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠 水道事業経営をおこなう上で、安全、安心、安定した水の供給をすることが最も重要と考える為。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア 回		12	12	12	12	12	12	12	
	イ 箇所		1	1	1	1	1	1	1	
⑤ 対象指標	ア 箇所		1	1	1	1	1	1	1	
	イ									
⑥ 成果指標	ア 回		0	0	0	0	0	0	0	
	イ									
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	2,894	1,906	3,755	1,168	2,256	11,000	11,000
		繰入金	千円	427	236	407	392	1,430	7,000	7,000
		一般財源	千円							
	(A) 事業費計		千円	3,321	2,142	4,162	1,560	3,686	18,000	18,000
	(A)のうち指定経費		千円							
	(A)のうち時間外、特勤		千円							
	人件費	正規職員従事人数	人	5	5	5	4	5	5	5
延べ業務時間		時間	300	300	300	284	300	300	300	
(B)人件費計		千円	1,191	1,200	1,194	1,130	1,194	1,194	1,194	
トータルコスト(A)+(B)		千円	4,512	3,342	5,356	2,690	4,880	19,194	19,194	

総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
(期間限定複数年度のみ記載)
0
0
0

事務事業名	セミコンテクノパーク内原水・配水施設維持 管理事業	所属部	水道局	所属課	上下水道課
-------	------------------------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価の部 (SEE)

\*原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ↷
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ↷
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 達成状態を維持するものとする。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ↷
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 最小限の予算で維持管理を行っているので削減余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 原水(取水)・配水施設を維持管理するために最小限の人員であるため削減余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ すべての水道使用者に受益機会があるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ↷ 現在、市に変わる事業者がいないので、移行できない。

## 3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可

- 廃止     休止     目的再設定     事業統廃合・連携     事業のやり方改善(有効性改善)  
 事業のやり方改善(効率性改善)     事業のやり方改善(公平性改善)  
 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

該当なし。